

SSKR

にじの会だより



Vol.66

社会福祉法人 にじの会

理事長 石崎 優仁

〒181-0015 東京都三鷹市大沢 1-6-3

TEL 0422-39-2411

FAX 0422-39-2412

ホームページ: nijinokai.org

ICTプロジェクトを開始しました。

1、平成30年度事業計画に基き、にじの会 ICT プロジェクトをスタートしました。

ICT (Information and Communication Technology) とは情報や通信に関する技術一般の総称のことで、文科省や教育分野では「情報コミュニケーション技術」と訳されています。にじの会のプロジェクトでの「ICT」とは、PC・プロジェクター・カメラ・投影機等ハードウェアと、Web サイトやCD-ROM・映像資料等のソフトウェアを合わせたもので、障害者の意思疎通や意思決定・自己表現をサポートする方法と技術を指しています。プロジェクトの構成メンバーは、日中支援スタッフ、生活支援スタッフ、音楽・運動・美術の支援専門スタッフで、アドバイザーとして電気通信大学の水戸和幸准教授に参加して頂いています。

2、これまでのにじの会の重度障害利用者のコミュニケーション方法と ICT 利用状況について

障害の重い利用者の意思決定支援については、写真①にありますようにホワイトボードに写真を貼り付けて情報や意思決定をする方法が主流だったのですが、昨年度、写真②の仲工房にタブレットPCを試験的に導入して意思表示ツールとしてテスト運用しました。また、写真③の美術等の表現活動においてもプロジェクターやパソコン等の機器を活用しています。

①ホワイトボードでカード



②PCタブレットの導入



③美術プロジェクター活用



3、今後の重度障害利用者支援における ICT 活用について。

にじの会においては重度知的障害利用者の支援について、本格的に ICT 機器の活用を検討しています。今年度は以下の3つの活用方法について研究します。

(1) 意思決定支援における ICT の活用。

意思決定の各プロセスでの必要事項と ICT サポートの可能性を探ります。特に、言葉の出ない利用者の方の意志表出の支援と自己選択の支援をします。

(2) 自己表現支援における ICT の活用。

自己確認ツールと表現ツールの多様化への ICT サポートをします。自己の感情の表現の支援、自己の美術表現の支援、自己の音楽表現の支援、自己の運動の表現や理解の支援をします。

(3) 社会参加支援における ICT 活用。

社会参加の方法ツールや安全確保ツールとして ICT サポートをします。金銭代替カードによる買い物等の支援、通信方法の支援、情報・娯楽の支援、コミュニケーションの支援、位置確認等の安全確保の支援をします。

(ICT プロジェクト担当 田中克樹)



【高齢化対策の取組】

スタッフの介護保険施設実習



にじの会も開設 15 年が経ち、若い利用者の生活・活動とは異なる高齢利用者の生活・活動が大きな課題となってきました。実際に高齢利用者の方々を理解する上で加齢による心身機能の変化や低下傾向にある高齢者に介護技術の方法や環境因子として出来ることは何かを知ることが必要だと考えております。そこで法人の高齢化対策プロジェクトでは、平成 30 年度に介護保険施設への見学・実習を実施し、高齢者の方々と実際に関わりを持ち、コミュニケーションの方法や施設の職員から支援の方法を学ぶ事を目的として地域の介護保険施設での実習を開始致しました。実習先は前期では、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）と認知症対応型デイサービスの 2 施設を選択し、後期には介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）を予定しています。現在、配属しているメンバーは高齢化対策プロジェクトの構成員と工房えがお（高齢対応グループ）に所属している職員です。実習を通して理解できたことを情報共有しながら、今後の利用者への支援の内容やプログラムの検討及び環境整備などに役立てて参りたいと考えております。この取り組みは法人全体の課題ですので今後は対象職員の枠を広げて高齢化対策への認識を深めていきたいと考えております。

対象利用者の介護保険施設への移行

今年度より相談支援事業に高齢者担当を発足させました。現在利用者の中には認知症の診断を受け医療支援を受けている利用者の方が 5 名程度いらっしゃいます。工房えがおでは、中核症状と行動・心理症状（BPSD）が出ている利用者の方々の支援方法を模索中ですが、現在だけを見るのではなく将来を見据えた支援が求められていると考え社会資源の活用も視野に入れ、地域における其々の施設の持つ役割を理解し、高齢利用者の 1 日の時間軸を年齢相応に考え、障害特性に拘らず年齢を重ねて低下した身体、新たに脳機能に障害を生じた高齢利用者の認知症支援等を得意とする介護保険施設へ移行する事も考慮し、ご家族共々これまで暮らしてきた地域の中でご本人に合った適切な施設はないか行政との調整や施設のご理解を得るべく努力して参りました。

今回、三鷹市内でこれまで何かと、にじの会とも関わりがあり、環境の良い認知症の対応を得意とするユニット型の介護老人福祉施設に入居が決まり 1 名の方が 6 月に移行なさいました。にじの会としては施設探し、施設見学、契約、送り出しをサポートしましたが、ご本人もご自分の環境に合った新たな生活の場に移行できる余力を持ち自分の居場所として同年齢の方々が暮らす施設に馴染んでいかれると思います。新施設への移行に当たっては書面などを丁寧に作成して引き継ぎをする事で、ご本人の新たな生活が安全で安心なものとなるように協力してまいります。

これからも、ご本人の今後の生活が介護保険施設が適切な方については、移行ができるように準備を進めてまいりたいと考えております。

（高齢化対策プロジェクト・相談支援高齢担当 佐藤昌美）

【新しい帰省期間支援の取組】

大沢にじの里開所 15 年が経過し、ご家族の高齢化等で年 3 回・約 1 週間の帰省期間の受入れが難しくな
って来ている事を受けまして、平成 30 年度の事業計画で、今年度より原則 3 泊 4 日以上での帰省に短縮す
るとともに、旅行は廃止する事になりました。今回はその第 1 回目のゴールデンウィーク帰省期間につき、
ご報告します。

大沢にじの里での生活支援報告

ゴールデンウィーク帰省期間中（4 月 29 日～5 月 5 日）1・2・3 階生活フロアは開所になり（各グループ
ホームは閉鎖）、ショートステイの居室や帰省された入所利用者の居室は、各グループホーム残留利用者が
お借りする形になりました。

利用者の皆さんは、休日のベースでゆっくり過ごしていただきましたが、途中 2 日間、日中余暇支援のイ
ベントも楽しんでおられました。

スタッフの支援体制は、各生活フロアスタッフに加え、応援で日中活動スタッフが日勤、グループホーム
スタッフが遅番・夜勤と、にじの会全体の支援スタッフで支援を実施しました。事前に支援マニュアル等を
整備し応援スタッフに周知を行いましたが、まだ初めての事でしたので不明点等の戸惑いがありました。こ
の点につきましては、今後 1・2・3 階生活フロアスタッフと各ホームスタッフの支援交流を行い、各利用者
や支援方法を知る事により改善を図って行きたいと思えます。

日中余暇支援の報告

5 月 3 日・4 日と 2 日間、大沢にじの里 2 階ダイニングで帰省期間中の日中余暇を実施しました。

3 日の余暇テーマは「いろいろな美術を楽しみましょう」という事
で、段ボールタワー・墨流し・ガラス窓に絵・塗り絵・シール貼り・
ペットボトル蓋並べ等、様々な活動を自由に選択出来る事としました。
4 日のテーマは「ボッチャ（パラスポーツ）を楽しみましょう」で、
身体を動かすゲームを実施しました。



美術では時間一杯迄、作品作りに集中される方が多く見られました。
ボッチャでは、身体を動かして心身ともにリフレッシュされ、点数を
競うゲーム形式で一喜一憂されていました。

また、今回は自由参加・自由退出とした事で、生活フロアや事前に参加希望を出されていた通所利用者の
方々が、時間を気にせず、それぞれの個人のペースで参加し笑顔で楽しめました。支援スタッフも多く配
置する事により、ひとりひとり手厚く支援が実施出来ました。

今回の帰省期間（生活支援・日中余暇支援）は大きな事故も無く楽しく実施する事が出来ましたが、改善
点を洗い出し、次回の夏季帰省期間に活かして行きたいと思えます。

（帰省期間担当 生活支援統括 下山唯人）

＜地域交流活動＞三鷹市 新川・中原地区の報告

にじアート活動交流会

5 月 23 日・30 日にケアネットしんなか（三鷹市新川・中原地区）分科会委員の方々が、にじアートへ来訪され、利用者と一緒に各活動を通じた交流会を行ないました。ケアネットは三鷹市内 7 つのコミュニティ住区を基盤エリアとして、地域の住民団体や関係団体が連携する支え合いの仕組みです。地域の課題解決に向けた協議や、「自然な声掛け」を始めとする啓発活動など、各地域に合った取り組みに、にじアートも地域施設として積極的に参加しています。今回は、ケアネットサポート分科会委員による「障害理解促進」の一環として企画され、わっしー工房の運動ストレッチと工房創楽の口腔体操、それぞれの活動の目的を肌で感じて頂きながら、利用者との交流を楽しまれていました。

8 月 31 日（金）15 時～18 時

第 2 回にじアート夏まつり

ぜひ、みなさまお越し下さい



交流会後「すぐに溶け込めて楽しかった」「今回を通じて他の事業所にも行ってみたい」「日頃から触れ合える機会をさらに持ちたい」等の感想が多く寄せられました。今後も、事業所の認知度促進に繋がるよう、有意義な交流会やイベントをさらに企画していきたいと思います。



わっしー工房（ストレッチ運動と筋トレ）

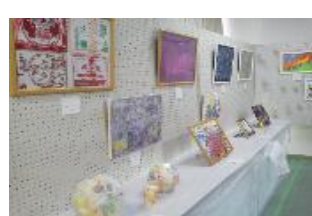


工房創楽（音楽に合わせた口腔体操）



新川中原コミュニティまつり

4 月 21 日（土）22 日（日）新川中原コミュニティセンターに於いて「第 36 回新川中原コミュニティまつり」が開催されました。にじの会からは、ワークショップハーモニーの出店販売と美術作品の展覧を行ないました。ケアネットしんなかの委員としても準備段階から、にじアートの複数スタッフと共に各ブースの会場設営や後片付けにも取り組みました。今回のまつりは初日午前中の時点から大盛況で、子供向けのブースだけでなく、高齢者向け演芸や健康づくりに関する PR も多種に亘り積極的に行われており、このイベントの盛況ぶりをあらためて実感しました。にじの会美術作品展は今年度から事務局より出展の要請を受ける形となり、昨年よりさらにパネル 2 枚・テーブル 2 台分増設され、様々な方々が目を凝らしながら作品と向き合って鑑賞しておられました。今後も地域との密接な交流を構築出来る様にしていきたいと思います。（にじアート 新津健朗）



＜地域交流活動＞三鷹市 大沢地区の報告

大沢コミュニティ祭

今年も 5 月 19 日(土)～20 日(日)に第 43 回大沢コミュニティ祭が地元大沢コミュニティセンターで開催され、にじの会よりワークショップハーモニーが模擬店で出店し、焼きたてパンやクッキー、揚げたてコロッケ、手作りジャム、織製品など、ハーモニー利用者の方々が参加し販売致しました。2 日前から事前準備のため大沢住民協議会の方々をはじめ、実行委員役員の方々、各参加団体の方々が雨天の中でも会場に集まり、にじの会からも利用者・スタッフ合わせて 10 名ほど参加し、会場設営を行ないました。当日は大沢地区の皆さんの熱い思いがつうじて 2 日間とも見事な晴天となり、多くの子供達や地域の方々が様々なイベントやステージ、模擬店、作品展示会場にご来場され楽しまれて大盛況でした。特に 2 日目の大沢コミュニティセンター広場でのミニ新幹線のイベントでは、朝のまつり開始から終了まで子供達の行列が途切れないほど大人気の一つでした。にじの会が出店した模擬店へも多くの子供達が来店し、焼きたてパンや揚げたてコロッケを食べながら、特に子供うけが良かったブローチやペンケースの織製品が大人気で、いろいろな種類を揃えた手作りジャムは、各店舗の常連様からも好評でした。今後も地元大沢地域の皆様に喜んで頂けるよう、いろいろと協力していきたいと思ひます。（担当 清水宏一郎）



大沢買物送迎支援一周年の報告

昨年 6 月 6 日から「にじの会」と「ケアネット・おおさわ買い物送迎支援グループ（三鷹市大沢）」と協定書を結び正式にケアネット・おおさわ「買い物ツアーかわせみ」として運行し、1 年になりましたので、ご報告致します。

実施回数：127 回（平成 29 年 6 月～平成 30 年 5 月）

参加者利用数（サポーター158 名を含め）646 名 ※大沢地域包括センター協力

参加利用者地域：三鷹市大沢 1 丁目～6 丁目にお住まいの方

行き先：9 か所＋ハーモニー・ハーモニーガーデン

（担当 飯野龍二）



「いつまでも続けてね！」

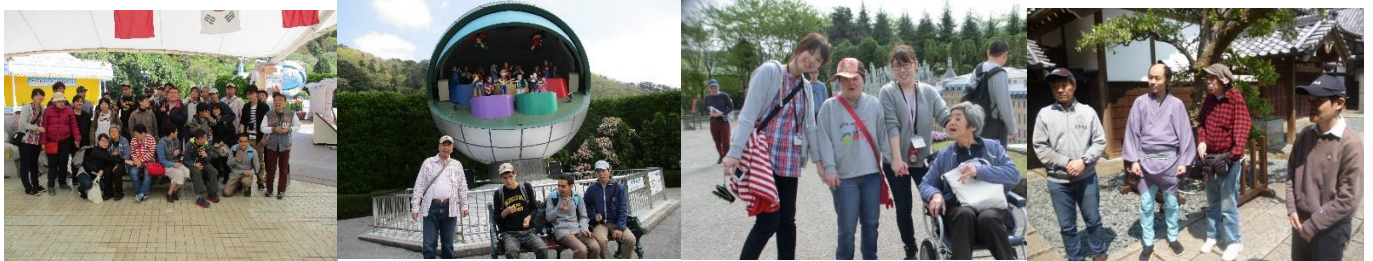
脳梗塞で倒れ、数回の腰の手術をしてから家に閉じこもりがちだった人が、「買い物ツアーかわせみ」に参加して慣れてきた頃に発した言葉です。あんなに外に出るのを躊躇していたのに・・・うれしい変化です。ツアーに参加することを目標にリハビリに励み、お元気なお顔を見せてくださいました。「有り難い！有り難い！こんなに親切にさせていただいて何とお礼を言ったらいいのかしら。」送迎の車中は、いろいろな話に花が咲き、にじの会での昼食時はサロン（ハーモニー・ハーモニーガーデン）で楽しい時間が流れています。このような買い物ツアーを、地域貢献として実行に移して下さった石崎理事長様に、参加者の皆様の声を代弁して、心から感謝を申し上げます。そして、きめ細かな気配りで安心のツアーを運営して下さる飯野さん。お仕事以上の働きをして下さる運転手の木村さん・綱本さん・曾根さん・三浦さん。本当に有難うございます。私も「買い物ツアーかわせみ」の一員として携われることに感謝し、微力ながらこれからもお手伝いさせて頂こうと思ひます。今後とも宜しくお願ひ致します。

（地域ケアネットワーク 斎藤恵美子）

平成 30 年度にじの会一泊旅行報告

平成 30 年度も大沢にじの里・にじアート・未来工房にじの利用者を対象に一泊旅行を実施しました。今年度は、バス（ふれあい号）の定員も考慮して 1 コース増加し 6 コースでの旅行になりました。

旅行 A コース（日光・鬼怒川）



4 月 19 日～20 日に数年ぶりとなる日光・鬼怒川方面へ行きました。両日ともに天候に恵まれ、1 日目は東武ワールドスクウェアで、昼食を食べ世界有名な建築物や遺跡をゆっくり歩きながら見て楽しみました。鬼怒川グランドホテルに宿泊し夕食では地元の特産品を活かしたおいしい料理を食べながら宴会を満喫しました。2 日目は日光江戸村にて、江戸時代を再現した街並みで様々な江戸人に話しかけられ、お屋敷や芝居小屋を見たり時代劇風のお店で昼食を食べたり買い物を堪能してきました。

（旅行担当：服部）

旅行 B コース（東京ディズニーランド）



5 月 10 日～11 日にディズニーランド方面へ行きました。1 日目は東京ディズニーランドで天候に恵まれず雨が降りましたが、新しい室内アトラクションや買い物をゆっくり堪能しました。夜は東京ベイ舞浜ホテルに宿泊し、夕食ではコース料理を楽しみ、カラオケも利用者全員前に出て歌って宴会を満喫されていました。2 日目は快晴の中、葛西臨海公園を散策しました。水族園でお魚を観賞したり、公園内のお花畑や観覧車を見て回るなど、グループごとに好きなところを回って満喫しました。

（旅行担当：藤原）

旅行Cコース（伊豆の温泉と料理）



5 月 17 日(木)～18 日(金)に伊豆方面に行きました。1 日目はシャボテン公園到着後バーベキューを食べ、その後は園内を散策しカピバラ、リスザル始め、様々な動物との触れ合いを楽しみました。伊藤園ホテル熱川では夕・朝とバイキング料理でお寿司、お肉、サラダ、デザート等とても豊富に用意されていて、利用者の皆さんもとても満足された様子でした。また終了後はカラオケや卓球など行なわれる方もいて、とても充実した初日となりました。2 日目は修善寺にある虹の郷に行きました。とても雰囲気のある建物やフェアリーガーデン、イギリス村、カナダ村など各グループで行きたい所に行くことが出来、とても楽しめました。

(旅行担当：竹内)

旅行Dコース（鴨川シーワールド・マザー牧場）



5 月 24 日(木)～25 日(金)に千葉県鴨川方面へ行きました。1 日目は海ほたるで休憩後、鴨川シーワールドで昼食を食べました。シャチやイルカのショー、買い物などを楽しみました。ホテルは併設されている鴨川シーワールドホテルに泊まり、バイキング形式の食事でお好きな物を選び、皆さん堪能された様子でした。2 日目はマザー牧場へ行き、ウサギや羊などの動物と触れ合ったり、バスに乗り園内を散策したりしました。食事場所もたくさんあり、各グループで食べたい場所へ行きました。2 日間共に天気に恵まれ、楽しい旅行となりました。

(旅行担当：相馬)

旅行 E コース（箱根へロマンスカーで）



E コース旅行は 5 月 31 日から 6 月 1 日に公共交通機関を利用して箱根に行きました。新宿ー箱根湯本間はロマンスカーに乗車し、新型車両で皆さんリラックスした様子で過ごされていました。1 日目は箱根登山鉄道に乘車して箱根彫刻の森美術館に行きました。バイキング形式の食事を楽しんだ後には美術館散策をグループ毎に行い、展示作品を見て楽しまれている方もいました。ホテルでは宴会場でカラオケを行い、大いに盛り上がりました。2 日目は箱根湯本駅付近を散策後、湯本富士屋ホテルにてランチbuffetの昼食を行い、沢山の種類の料理から好きな料理を選び、皆さん美味しい料理を堪能していました。（旅行担当：杉本）

旅行 F コース（福島スパ・ハワイアンズ）



6 月 14～15 日にかけて、福島いわき市のスパ・ハワイアンズへいきました。到着後、昼食を済ませると 4 時間のバス移動の疲れも見せず、沢山の人がプールで涼を取りました。夜は、ステージの炎の熱気が伝わってくる、とても良い席でハワイアンショーを楽しみ、ステージに上がって一緒にダンスをしたり、記念撮影して楽しい時間を過ごしました。2 日目、生憎の雨ではありましたが、アクアマリン福島に立ち寄り、その後は楽しみにしていた自由行動での昼食を堪能しました。三鷹に戻った頃には雨も上がり、各々お土産を手に帰路につきました。（旅行担当：佐々木）

『にじの会便り 66 号』 定価 50 円

発行所：特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

〒157-007 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷 102 号

TEL:03-6277-9611 FAX:03-6277-9555

編集人：社会福祉法人にじの会

水田智也「あじさい」

181-0015 東京都三鷹市大沢 1-6-3 TEL：0422-39-2411 FAX：0422-39-2412